

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	呼吸器内視鏡検査での診断に関与する因子の後方視的検討
研究責任者	呼吸器内科 生島壮一郎
研究機関名	日本赤十字社医療センター呼吸器内科、病理部
研究目的と意義	当センターで、2006年1月～2016年3月に呼吸器内視鏡検査がなされた症例について、検査手技内容や症例背景と診断結果について後ろ向きに検討します。
研究期間	2016年4月承認日～2020年3月31日
研究方法	<p><研究デザイン></p> <p>本研究は後ろ向き研究であり、すでに検査がおこなわれている症例のカルテ閲覧により、検査内容および診断結果について検討するものである。本研究は疫学指針の対象とします。</p> <p><方法></p> <p>2006年1月～2016年3月に呼吸器内視鏡検査がなされた症例について、電子カルテ閲覧により、検査手技、症例背景と診断結果を調べ、呼吸器内視鏡で診断された症例と呼吸器内視鏡で診断されなかった症例において、比較検討します。</p> <p>主な評価項目は以下の通りです。</p> <p>性別、年齢、胸部画像所見、病期、治療方法、腫瘍サイズ、腫瘍存在部位、呼吸器内視鏡検査時使用デバイス、麻酔法、仮想内視鏡の有無・所見、EBUS（気管支腔内超音波）有無・所見、ENB（電磁ナビゲーション）の有無・所見、検査時間、合併症、細胞・組織診断結果、組織採取個数、組織採取サイズ（スコア化）</p> <p>この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者様への負担はかかりません。匿名化とって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、呼吸器病に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。</p> <p>研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター呼吸器内科</p> <p>〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22</p> <p>担当者：栗野暢康、生島壮一郎</p> <p>TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>